

令和5年度 第1回九州矯正歯科学会総会議事録

進行 庶務理事 五百井 秀樹

日 時 令和6年1月11日(木) 18:30-20:00
場 所 オンライン開催
出席予定者 役 員(11名、第18回大会長および第19回大会長を含む)
評議員(18名、第18回大会事務局長、第19回大会事務局長、第20回大会長
および第20回大会事務局長を含む)
IT委員会委員長

一、開会

一、会長挨拶(宮脇会長)

宮脇会長より、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、第19回学術大会が鹿児島にて、全面的な対面での開催を予定しており、準備が順調に進みつつあること、第20回大会も準備が開始されていることが報告された。また、雑誌第19巻1号が定期発刊されたことへの感謝の辞が述べられた。加えて、12月に行われたTAOの学術大会・総会の報告が挨拶として述べられた。

一、大会長挨拶(第19回大会 宮脇正一大会長)

関係者への謝辞と協力依頼があった。

会の成立、出席者と定足数の確認

評議員20名中、富永淳也先生(長崎大学支部)および田村仁美先生(福岡県支部)の2名欠席、委任状あり、会の成立を確認した。他に、IT委員会委員長田中隆一先生が出席。

一、議長選出

春山直人評議員(九州大学支部)選出

一、議事録署名人の選出

安永まどか評議員(福岡歯科大学支部)および小宮智幸評議員(佐賀県支部)選出。

一、物故会員への黙禱

当学会設立時の理事で 2013 年度まで企画調整理事の山口和憲先生(九州矯正歯科学会名誉会員)および名方俊介先生(福岡県支部)がご逝去されたことが報告され、ご冥福をお祈りした。

一、会務報告

1. 会長報告(宮脇会長)

令和 6 年能登半島地震に際し、1 月 9 日に TAO 会長の Richard, Chen-Feng Cheng 先生より、お見舞いメールが届いたことが報告された。

2. 庶務報告(五百井庶務理事)

会員動向：2023 年 12 月 18 日時点の正会員数 578 名、名誉会員 2 名、2023 年 4 月 1 日－2023 年 12 月 18 日の入会者 17 名、退会者 8 名、賛助会員 18 社であるとの報告がなされた。

令和 5 年 9 月 21 日に第 1 回理事会、令和 6 年 1 月 11 日に第 2 回理事会開催し、令和 6 年 1 月 11 日に第 1 回総会開催予定。

その他会務報告として、2023 年 4 月日矯から 2023 年度地区学会等助成金交付についての連絡、7 月「地区学会等雑誌共同販売のお知らせ」を会員へ連絡、8 月全会員宛お知らせを学会ホームページ会員専用サイトへ掲載、9 月過去の学術大会概要および役員名簿についての確認、11 月に九州矯正歯科学会名誉会員山口和憲先生ご逝去のお知らせを行った。

九州矯正歯科学会雑誌第 19 巻 1 号を発送した。

ホームページ管理は jos-k.com 関連でくらインターネット株式会社を利用。サーバ費用：年額 5,238 円、ドメイン名維持管理：年額 1,886 円。メール登録は 2023 年 12 月 25 日現在、528 名(会員 578 名中 91.3%)。オンライン演題募集、大会参加登録システム運営関連は DIGITAL INSPIRATION 社の Google フォームのアドオン(機能拡張)ソフトを利用。年額 \$39。

役員・評議員・委員会委員名簿の確認を行った。宮脇会長より編集委員会委員の福嶋美佳先生(鹿児島大学)は 2024 年 1 月より産休のため、丸谷佳菜子先生が代理を務めることが報告された。

3. 財務報告（上村財務理事）

令和5年度（令和5年4月1日から令和5年11月30日まで）の収支について報告があった。収入合計は5,637,140円、支出合計は2,712,518円、次期繰越金は15,488,835円。また、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の収支について報告があった。収入合計は5,563,572円、支出合計は5,357,034円、収支差額は206,538円、次期繰越金は12,564,213円。

4. 編集報告（川元編集理事）

第19巻1号において、投稿論文5編が2023年12月31日に発刊された。

本年度は、事務局移管後、2回目の発刊となったが、定期発刊を行うことができた一方で、最終決定の場である編集委員会を開催できなかったため、今後改善を図っていきたい旨が説明された。

製作費については、昨年度よりも数万円金額が下がり、予算内での刊行として請求予定であることが口頭にて報告された。

また、トラベルアワード受賞者の特別寄稿は、第19巻1号では野村俊介先生（九州大学）と安永まどか先生（福岡歯科大学）にご寄稿いただいたことが報告され、第20巻1号以降もトラベルアワード受賞者に寄稿していただく予定であることが説明された。

5. 学術報告（今後の学術大会の開催地）（玉置学術理事）

学術委員会の構成委員について報告があった。2023年度トラベルアワード選考を行った結果、鳥谷高広先生（九州大学）と小牧博也先生（長崎大学）を候補者とし、賞状と報奨金を学術大会の表彰式にて宮脇会長よりお渡しすることが説明された。

2024年度以降の大会開催スケジュール予定について、第21回大会を大分県支部が担当、第22回大会は九州歯科大学支部が担当予定。

演題登録の際に運用している倫理的配慮および利益相反に関するチェックリストについて、第20回大会より運用することが報告された。また、トラベルアワード受賞者には今後も寄稿依頼をすることが報告された。

6. 渉外報告

（国内：小椋渉外理事）

九州矯正歯科学会から日本矯正歯科学会へ推薦する委員の選出において、現在の委員および今後の予定について説明された。

(国外：陶山渉外理事)

2023 年 9 月 TOS 学会、2023 年 12 月 TAO 学会にて九州矯正歯科学会からブランクを贈呈したことが報告された。また、第 19 回学術大会には台湾から TAO 会長 Cheng 先生と若手講演者 Wang 先生の参加、第 20 回学術大会には TOS 学会からの招待講演とシンポジウムが予定されていることが報告された。

7. 第 18 回大会報告（長崎大学支部）

第 18 回大会大会長の吉田教明先生より、ハイブリッド開催（現地開催：令和 5 年 3 月 4 日～5 日、オンデマンド配信：令和 5 年 3 月 15 日～25 日）された第 18 回大会についての報告があった。また、事務局長の佛坂齊祉先生より会計収支報告について説明があった。

8. 第 19 回大会経過報告（鹿児島大学支部）

第 19 回大会事務局長の前田綾先生より、大会概要、準備状況、収入見込、抄録集の発送についての報告があった。

抄録集については、経費削減のため今大会では、対面での大会参加者のみ抄録集を配布した。会員全員へは学会 HP の会員専用サイトにて電子抄録の提供を行った。

9. 日本矯正歯科学会代議員推薦についての報告（宮協会長）

宮協会長より、次期代議員候補として前田綾先生、田村仁美先生、酒井利雄先生、田中隆一先生、京極和彦先生、酒井昭行先生、矢野収一先生、山形圭一郎先生、上運天修先生の 9 名を推薦したことが報告された。

一、監査報告

石川博之監事と川越仁監事より、令和 4 年度の決算を個別に監査した結果、会計管理および記載事項に問題がないことを確認したとの監査報告があった。

一、審議事項

第一号議案 令和 6 年度事業に関する件（五百井庶務理事）

第 20 回学術大会の開催、理事会・総会の開催、九矯歯誌第 20 巻 1 号発行、予算案作成、ホームページ管理、第 21 回学術大会の開催支援、若手研究者の国際交流へのサポート、その他、を承認。

第二号議案 令和4年度(2022.4.1-2023.3.31)歳入歳出決算の承認を求める件(上村財務理事)

令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の収支について、収入合計は5,563,572円、支出合計は5,357,034円、次期繰越金は12,564,213円との報告があり承認された。

第三号議案 令和6年度入会金・年会費徴収について承認を求める件(上村財務理事)

令和6年度より2~3年ほどかけて、年会費徴収の方法をコンビニ決済から自動口座引き落としへ順次移行することが発議され、固定費や会員への案内方法について説明された。承認。

第四号議案 令和6年度歳入歳出予算案の承認を求める件(上村財務理事)

収入の部：入会金60,000円、正会員会費4,039,000円、賛助会員会費400,000円、投稿料収入150,000円、広告料収入150,000円、補助金収入300,000円、雑誌共同販売等の雑収入50,000円。当期収入合計は5,149,000円、前期繰越収支差額10,852,737円を加えて、収入合計は16,001,737円。

支出の部：事業費として大会準備金1,500,000円、雑誌発行費1,200,000円、管理費として通信印刷費330,000円、編集経費20,000円、消耗品費20,000円、会議費30,000円、国際交流費350,000円、旅費交通費200,000円、会員管理関係事務費1,191,300円、雑費37,000円、予備費10,782,737円を加えて、当期支出合計は15,811,037円。承認。

第五号議案 会長・監事選挙に関する件(五百井庶務理事)

選出規定の確認の後、選挙管理委員の選出をオンライン投票で実施することが承認された。総会出席評議員を確認の上、オンライン投票について説明され、投票を実施。投票の結果、選挙管理委員として春山直人評議員(九州大学支部)、北原亨評議員(九州大学支部)、田村仁美評議員(福岡県支部)が選出された。また、次点の候補者は宮園久信評議員となった。

第六号議案 第20回大会(福岡県支部)に関する件(宮園大会長)

宮園久信大会長より第20回大会について、会期は2025年3月1日(土)、2日(日)、会場はアクロス福岡。大会テーマは「矯正ビックバン！！ーこれまでの20年~これからの20年ー」、特別講演の候補者として本吉満先生、シンポジウム候補者として伊東歯科口腔病院(熊本県)、エンゼル矯正歯科(大分県)、府中けやき通り矯正歯科(東京)、招待

講演は台湾口腔矯正医学会の推薦者への講演依頼を予定しているとの説明があった。また、教育講演の講師については、理事会にてメール審議を行い検討すること、大会スケジュール、今後のスケジュールなどの説明があった。承認。

第七号議案 次々期第 21 回大会（大分県支部）に関する件

第 21 回大会を大分県支部担当での開催とすることが承認され、会期は 2026 年 3 月 7 日（土）、8 日（日）、会場は J:COM ホルトホール大分とすることが説明され、承認。

第八号議案 オンライン雑誌投稿システムの運用に関する件（川元編集理事）

第 19 巻 1 号よりオンライン投稿システムの運用を開始したことが報告され、今後、オンライン投稿のみに移行することについて承認された。

第九号議案 ホームページの多言語化に関する件（田中 IT 委員長）

ホームページの多言語化について、日本語・英語・中国語(台湾)・韓国語に翻訳することが承認された。

第十号議案 紙媒体での抄録集作成および配布の廃止について（高橋大会運営理事、宮脇会長）

第 20 回大会より経費削減のため冊子を廃止しオンライン抄録のみとすることが発議され、承認。

一、協議事項

1. 選挙の手続き等の見直しについて（宮菌選挙見直しワーキンググループ委員長）

令和6年の選挙は現在の規則に沿ってこれまで通りに実施し、その後、規則改定などを行い、令和8年の選挙は改訂された方法で実施すること、今後のスケジュールなどが説明され、原案として了承された。

一、次期開催地大会長挨拶（第 20 回大会 宮菌久信大会長）

福岡県にて開催される次回大会は 20 回目の記念大会でもあるため、福岡県支部で協力し、盛り上げていきたいとの挨拶が述べられた。

一、閉会

議長

春山直人	
------	---

議事録署名人

安永まどか		小宮智幸	
-------	---	------	---